

市民の皆様へ

調布市の顔である調布駅の駅前広場は、平成24年（2012年）8月の京王線地下化の実現から5年半、駅舎や線路で分断されていた駅前広場が南北一体化できたことで、市民の皆様の移動の円滑化が図られ、加えて、この事業によって創出された貴重な都市空間において、新たな複合商業施設が昨年9月にオープンしたことにより、調布市の魅力がなお一層高まり、賑わいのある場となっています。

現在、駅前広場の整備については、段階的に北側ロータリーから整備に着手しており、歩行者等の安全対策とともに、路線バスの運行等に最大限の配慮を図り、停留所の段階的な移設を行う中で、2か年目となる北側ロータリーの整備を推進しているところです。今後の整備予定といたしまして、地下駐輪場の整備とともに、南側ロータリーの整備を段階的に着手していく予定であり、先月1月16日に駅前広場整備に関する説明会を開催し、私からお集まりいただいた市民の皆様にご直接御説明する機会を持たせていただきました。

この駅前広場については、地下化方式での連立事業の検討と合わせ10数年来にわたり検討会や意見交換会、アンケート調査など様々な市民参加手法の下で協議・検討を進めてきました。その内容を踏まえて平成26年に事業に着手したところです。

その後、駅前広場の既存樹木を保全して欲しいという市民の強い思いを受けとめ、既存樹木をできる限り保全できるよう様々な検討を重ね、旧第一小学校由来の記念樹などのシンボルとなる樹木の現在の位置での保全や将来にわたって活用できる樹木について、移植などにより保全する方針で取り組むことといたしました。この方針に基づきシンボルとなる樹木を中心に広場内で30本程度は次世代に継承しつつ、将来的には、既存樹木に加え武蔵野の樹種などを合わせた100本を超える樹木が適切に配置された緑豊かな調布に相応しい駅前広場となるよう取り組んで参ります。

私は、これまで同様駅前広場での各種イベント利用などにより賑わいのある調布ならではの空間も継承しつつ、駅前広場が多摩地域の玄関口として鉄道とバス、タクシーなどとの乗り換えの利便性が向上し交通混雑の無い安全で快適な交通結節機能を高めていくとともに、樹木配置や使い勝手の良い特徴ある駅前広場の整備をバランスよく進めていく必要があると考えております。

今後の駅前広場の整備において、より利便性が高く、市民の皆様が集い・親しまれる駅前広場となるよう、ソフト・ハードが一体となり、より一層魅力あふれる豊かなまちの実現に向け、市民の皆様とともに街づくりを進めて参ります。

平成30年2月20日

調布市長

